

## 読書活動に関する目標を設定した取組

滋賀県 日野町立南比都佐小学校

## 基本データ

所在地	蒲生郡日野町深山口 431番地
児童生徒数	73人
教職員数	14人
蔵書数	約8,700冊
年間貸出冊数	約6,000冊

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 学校図書館の仕組みが分かり、本を正しく利用することができる。
- 読書に親しみ、数多くの本を読むことができる。
- 教科の学習に役立つ本を活用し、学習を自主的に進めることができる。

## 取組・活動の概要

## (1) 委員会活動による児童の自主的な取組

- 委員会活動を通しての取組について、4月に年間計画を立て、計画的に行っている。

## ①図書委員会の取組

- 下学年、上学年に分け、読み語りの実施（5月より年3回）。



図書委員による読み語り

- 図書分類番号を活用したビンゴ形式のカードを作成し、読書ビンゴの実施（9～10月）。
- 読書画コンクールの実施（6月）。
- 「おすすめの本」の紹介資料の掲示。
- 南比都佐幼稚園（併設）の園児を対象にした読み語りの実施。

## ②放送委員会の取組

- テレビ読書（読み語り）の実施（年数回）。
- 名文暗唱「わくわく言葉の森」放送の実施（年間通じて週1回）。

## ③保健委員会の取組

- 南比都佐幼稚園の園児を対象にした紙芝居（手洗いの推奨など）の実施（6月）。

## (2) 年間80冊読書達成目標（読書貯金通帳、読書の木）

- 全校児童の年間読書達成目標を80冊に設定し、児童が読書に親しんだり目標をもって取り組んだりできるように読書指導の工夫を行っている。
- 4月、全校児童に「読書貯金通帳」を配付し、学年の発達段階に応じて日々の読書の記録を残せるよう指導し評価することで、児童一人ひとりの意欲を高めながら、年間を通じて継続的に実践を進めている。
- 中間目標達成表彰（「40冊達成賞」）を9月末に、年間目標達成表彰を2月末に実施している。

## (3) PTAとの連携による親子読書活動の推進

- 「親子読書の日」（毎月第3土曜日）を実施している。
- 児童一人ひとりに配付してある「家庭読書カード」に家庭での取組を書き込み、各学級担任がコメントをする。
- また、保護者からの感想を通信に掲載し、保護者への啓発を行っている。取組については、学び委員会（学力向上・研究推進委員会）で内容を検討し、同委員長（教務主任）を中心に進めている。

- ふれあい学習講座（保護者参加型学習参観）にて、「絵本のひろば」（低学年）、「読み合いワークショップ」（高学年）を実施し、絵本を通じたコミュニケーションや家庭読書の啓発を行っている。



絵本の広場



読み合いワークショップ

- 平成30年度は、年間読書目標の中間表彰を30冊に設定していたが、児童の意欲の高まりに合わせて、令和元年度は40冊の設定で中間表彰を行った。

### 取組・活動の成果や今後の展望

- 委員会の自主的な取組と後述の「年間80冊読書達成目標」とが相まり、全校児童の読書目標達成への意欲が大いに高まった（年間で数百冊の読書を達成する児童もいる）。
- 平成30年度の年間目標達成者は全校児童の85%であった。令和元年度の中間目標達成者は全校児童の92%であった。
- 保護者、児童とも、絵本の楽しさを味わう楽しさや読書を通じたコミュニケーションの喜びを感じることができた。
- 「ふれあい学習講座」（保護者参加型学習参観）では、今後、高学年の「読み合いワークショップ」と低学年の「絵本のひろば」だけでなく、他のプログラムも含めた6つの講座を隔年で3つずつ実施し、小学校在籍中に全ての保護者と児童が体験できるように実施する予定である。

### 取組・活動の工夫や特徴

- 図書委員会による「おすすめ本」の紹介、放送委員会によるテレビ読書や併設幼稚園の園児への読み語りなど、児童の主体的な活動が全校的に広がるように努めている。
- 町立図書館所属の学校図書館司書と連携を図り、国語科での読書を日常的に展開し、学習成果を異学年で交流する活動につなげる等、工夫した取組を実施している。
- 読書活動を推進するために、児童の年間読書目標を設定したり、PTAと連携した保護者参加型学習参観（講師は町立図書館長と学校図書館司書）を実施したりして、学校と家庭が一体となった読書活動の取組をすすめている（令和元年度は新たに低学年の「絵本のひろば」を実施）。